

平成 27 年度事業計画について(1)

(平成 27 年 3 月 27 日理事会承認済)

1. 木材需要拡大普及啓発事業**(1) 木材PRの推進**

高知県林業活性化推進協議会、高知県木材普及推進協会及び国・県・全木連等と連携し、テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディアを利用したPRを展開するとともに、「高知もくもくランド」、「木材まつり」等のイベントを利用し、木の良さ、木造住宅の良さを積極的にPRする。新たに、こうちエコハウスにおいて、高知県木材普及推進協会とこうち健康・省エネ住宅推進協議会が中心となって、高知県の森林、林業、木材産業、森林の機能、木材の特性、木造住宅と健康・省エネとの関係データ、こうち健康・省エネ住宅モデルプラン等に関する展示や木の家の魅力を情報提供する図書コーナーを設置して「高知の山・木・家」特別展示を開催する。また、保育園・幼稚園、小中学校等へ木のおもちゃの貸出しを積極的に行い、木育活動を展開する。



また、「日本建築家協会四国支部高知地域会」「高知県建築士事務所協会」等関連団体と連携の強化を図り木造住宅の建築促進を図る。

(2) 公共建築物等の木造化・木質化

「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」の施行に伴い一層の木造化の推進と公共建築物の内装への木材利用、土木事業への利用等の促進について、関係団体や会員の協力を得て陳情・要望活動を積極的に展開する。

(3) 大消費地への需要拡大

大消費地に流通拠点を設置し、輸配送の効率をアップし、顧客の利便性の向上と配送コストの削減を図ることで県産木材・木製品の販路の拡大を図る。(販売拡大拠点設置事業)

また、消費地での土佐材展示会やセミナー開催などの営業活動経費に助成を受け、土佐材の知名度向上と部材販売の拡大を図る。(土佐の木販売促進事業)

また、昨年に続き大消費地で、商談会やセミナーを開催し、土佐材の知名度向上と販路拡大に繋げる。(土佐材展)

これ等事業を実施するため、県と協力し【土佐材流通促進協議会】の活動を充実強化していく。また、第6回の優良土佐材見本市(合同市)を(協)西部木材センターで開催する。

平成 27 年度事業計画について(2)

(4) 合法木材供給体制の整備

ホームページでの公表や各種イベントを通じて、合法木材普及活動を展開する。



(5) 環境対策の推進

高知県 CO₂ 固定量認証専門委員会や高知県木質バイオマスエネルギー促進協議会に参画し、木材の建築物等への利用やエネルギー利用により、地球温暖化防止に貢献する環境対策を推進する。

(6) その他

- ①第 50 回全国木材産業振興大会（10 月 29 日、三重県津市）へ参加協力する。
- ②叙勲、永年功労者、優良者等の受賞者の推薦に努める。
- ③木造優良施設等の推薦を行う。

2. 木材産業振興・支援・調査・指導事業

(1) 木材業界の体質改善への取り組み

- ①高次加工施設等の導入による製材コストの低減や高次加工化を推進する。
- ②各種制度資金、補助制度等の普及と農林漁業信用基金等の活用を促進する。
- ③県内外の情報を収集して、「協会だより」として会員・賛助会員に 2 ヶ月に 1 回発信する。
- ④ J A S 認定工場の育成及び J A S 製品の生産出荷の指導強化を図る。

(2) 製材若手の会の開催



いつでもどこでも情報交換ができるネットワークづくりへの取り組みや先進的な活動を行っている事業等の見学会を行う。



(3) 高知県産学官民情報共有ネットワーク会議への参画

産学官民の連携による本県の産業振興や地域の課題解決等の取組を推進するために本年 4 月に設置される高知県産学官民情報共有ネットワーク会議の活動に参画する。

3. JAS 認定・監査・検査事業

(1) 性能表示木材の流通促進

J A S 製品等の品質・性能に信頼のある規格性能表示木材の生産拡大に努めると共に、公共建築物への JAS 製品利用促進や県外への販路拡大を図る。今年度より、品質を確保した県産製材品のブランド化を図り、取引の拡大に繋げるため、高知県産材ブランド化推進事業がスタートし、その検査に当たる。

(2) JAS 検査員・審査員担当者研修会に参加する。

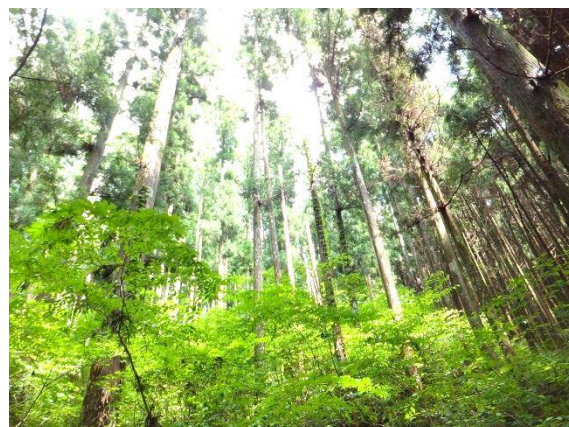
平成 27 年度事業計画について (3)

4. 森林育成事業

四国森林管理局との分収造林契約地（43.97ha）の森林状況等について、必要な都度、情報収集を行う。

5. 県産材需要拡大サポート事業

県産材の地産地消・地産外商のために必要な販売の促進、需要の掘り起こし、商品力の強化、及び経営基盤の強化など県内事業体をサポートする活動を展開する。



6. 木材統計調査受託事業

(1) 木材統計調査受託事業

製材企業等の乾燥に関する施設等の現況調査及び乾燥材生産状況調査を実施する。

7. その他事業

(1) 木材利用ポイント事業の総括と住宅エコポイント事業の推進

平成 27 年 5 月 31 日で木材利用ポイント申請が終了するため、事務局としてその総括を行うとともに、平成 27 年 3 月から開始した住宅エコポイント事業について、交換商品として県内木工製品の窓口となる高知県木製品工業連合協同組合の取り組みに対して支援する。

その木、
どこの木？ 木材利用ポイント



(2) J-クレジット制度審査検証事業

一般財団法人日本品質保証機構からの委託により、プロジェクト登録に係る妥当性確認及びクレジット発行に係る検証において、第三者検証機関の妥当性確認・検証を行う。

(3) 労働環境の整備改善

高知労働基準協会福祉部会や高知県林業雇用改善推進会議等で労働環境の整備改善について、また四国木材厚生年金基金代議員会議・理事会において、厚生年金基金制度見直しに係る法改正への対応について協議する。

8. 法人会計

当協会の情報発信やサービス提供等について工夫・見直しを図り、会員の増強に繋げる。
特に、現状の市町村賛助会員制度について見直し、全市町村が賛助会員となるような制度のあり方について検討する。



ココプラ 始まる。

産

学

官

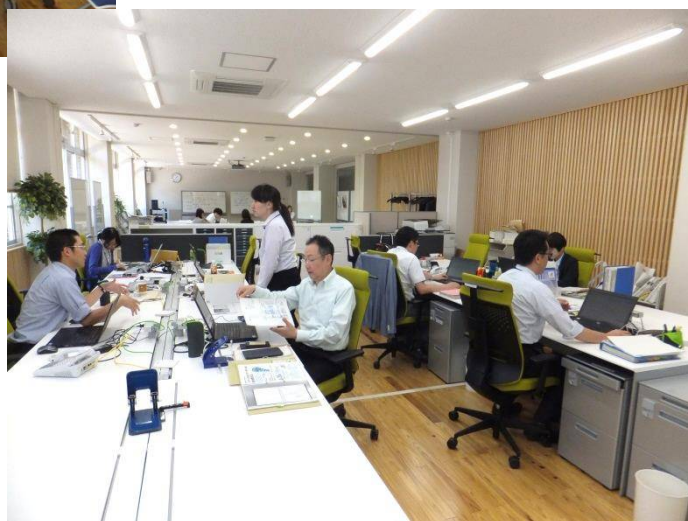
民

ココプラとは？ 高知県産学官民連携センターの略称です。



高知県では県内外の高等教育機関、企業、研究機関等多くの知見を導入しながら産業振興や地域の課題解決に向けた様々な取組を推進するため、高知県産学官民連携センター(ココプラ)を設置しました。

センターでは、「知の拠点」「交流の拠点」「人材育成の拠点」を3つの基本機能とし、産学官民連携に関する相談窓口の設置や交流機会の創出、人材育成研修などの取り組みを進めています。



kocopla

高知市永国寺町 6 番 28 号

高知県立大学永国寺キャンパス地域連携棟 1 階

Tel:088-821-7111 Fax:088-821-7112

Mail:info@kocopla.jp

<http://www.kocopla.jp/>

ココプラはココにある。



杉本センター長は林業出身



交流事業等の紹介

◇シーズ・研究内容紹介

県内の大学等が持ち回りでシーズ・研究内容を紹介します。教員のシーズや研究内容をテーマに参加者との意見交換や連携のアイデア出しを行い、大学等同士、企業と大学等との連携につなげていきます。

平成27年5月20日(水)からスタート

毎週、水曜日 開催18:30-20:00

※ただし、毎月第2水曜日及び8/12、9/23、12/23、12/30は開催しません。その他、臨時休等の場合があります。

◇経営者トーク

県内の経営者が講師となり企業の強みやニーズの紹介、創業のノウハウ等を紹介します。参加者との意見交換や連携のアイデア出しを行い、企業間、企業と大学等との連携につなげていきます。

平成27年5月15日(金)からスタート

毎月、第3金曜日 開催18:30-20:00

※臨時休等の場合があります。

◇5、6月のシーズ・研究内容紹介、経営者トークの日程

日	内 容	講 師	テーマ
5月15日(金) 18:30-20:00	第1回経営者トーク	株式会社シティネット 代表取締役社長 渡邊 基文	IT会社を営みつつ、自動車整備工場をなぜ起業したか!! 勝算はあるのか?
5月20日(水) 18:30-20:00	第1回シーズ・研究内容紹介	高知大学地域協働学部 教授 玉里 恵美子	地域志向研究経費申請課題成果報告「集落活動センターにかかわる協働モデルとプラットフォームの構築」
5月27日(水) 18:30-20:00	第2回シーズ・研究内容紹介	高知高専 地域連携センター長・教授 岸本 誠一	高知高専の産学連携紹介
6月3日(水) 18:30-20:00	第3回シーズ・研究内容紹介	高知県立大学 地域教育研究センター 産官学研究部会長・教授 渡邊 浩幸	機能性食品の作り方 ～機能性の調べ方、安全で美しい食品にする方法～
6月17日(水) 18:30-20:00	第4回シーズ・研究内容紹介	高知工科大学 地域連携機構 ものづくり先端技術研究室長・准教授 松本 泰典	ものづくりと産学連携 ～高知の地域活性化と産業振興への貢献に向けて～
6月19日(金) 18:30-20:00	第2回経営者トーク	有限会社ナインレイヤーズ 取締役社長 菊池 豊 高知工科大学 教授	～絵に描いた餅を本物の餅に～ 「こんな仕組みがあれば」の思いを実現するために、地域に根ざすIT会社を起業
6月24日(水) 18:30-20:00	第5回シーズ・研究内容紹介	高知学園短期大学 医療衛生学科歯科衛生専攻 教授 大野 由香	高知市と本学が連携し、小学生を対象に実施した「口腔健康指導」の取り組み

◇産学連携学会認定講習会

日時:平成27年5月21日(木)14:00-18:30、交流会

22日(金)10:00-12:00

テーマ:企業が大学を使うためにはどうすればよいか

対象:企業、団体

場所:ココプラ、他

◇高知県産学官民連携センター

開設記念イベント

日時:平成27年6月13日(土)13:00-20:00

13:00 受付開始

13:30-15:00 記念講演

15:30-17:30 土佐まるごと社中大プレゼン大会

18:00-20:00 大交流会

場所:ココプラ、他

○ココプラでは平成27年度から、土佐まるごとビジネスアカデミー(土佐MBA)を実施していきます。

○ココプラでは、上記の他、連続講座やゲスト招聘セミナー等を開催していきます。また、県内の大学等が行う社会人教育などの情報をホームページから情報発信していきます。

詳しくはこちら <http://www.kocopla.jp/>

催事のお知らせ

木を使うと、暮らしが変わる。地域が変わる。

まちと森林をつなぐ 木づかい全国キャラバン



日本の豊かな森林資源を活かし、
住宅や木製品への国産木材利用を積極的に推進する
「木づかい」運動。

本シンポジウムはその現状と意義について
考えることを目的に、体験型イベントを盛り込みながら
全国各地で開催いたします。



定員 **300名**

(事前申込制)※先着順

日時 **6月6日(土)**

受付開始13:00

開催時間13:30~17:00

会場 徳島県立産業観光交流センター
アスティとくしま

参加費
無料

開催概要

第一回 徳島県「まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン」

参加費
無料
事前申込制

木材・森林・環境分野に携わる専門家や、木材を使って様々な可能性にチャレンジしている企業・団体が参加。
森林再生と地球温暖化防止にもつながるライフスタイル・地域社会の在り方を考えます。また、親子で参加
できる体験イベントも開催します。

シンポジウム

ご挨拶 <13:30~> 林野庁/徳島県

基調講演 <13:45~> 「新しい木の時代にチャレンジする」..... 東京大学 名誉教授 農学博士 安藤 直人氏

「木づかい」
先進事例発表
<14:15~>
「愛媛発〜木材を無駄なく使う!国産材の製材と集材材への可能性」..... 株式会社サイプレス・スナダヤ 代表取締役 砂田 和之氏
「間伐材の利用で広がる、地域ビジネスモデル」..... 株式会社ビッグウィル 代表取締役、もりかみ協議会会員 近藤 清美氏
「あたらしい価値の見つけ方」..... デザイナー(武蔵野美術大学客員教授)、NPO84プロジェクト 代表 梅原 真氏
「林業の6次産業化の可能性」..... 株式会社フォレストバンク 代表、株式会社ゲンボク 代表取締役社長、
公認会計士岡田育大事務所 所長 岡田 育大氏

特別トークセッション
<15:30~> 「木を使うと、暮らしが変わる。地域が変わる。〜木材利用の価値とこれからの可能性〜」
コーディネーター:安藤 直人氏
パネリスト:福井 一博氏(徳島大学非常勤講師、徳島県木造住宅推進協議会 顧問)、砂田 和之氏、近藤 清美氏、梅原 真氏、岡田 育大氏

応募方法

FAX **03-5226-9929** WEB <http://www.yomiuri-ag.co.jp/kizukai2015/>

※先着300名様には、お申し込みいただいたFAXまたはメールアドレスに順次招待状をお送りします。当日必ずお持ちください。 ※お預かりした個人情報は、本シンポジウムのみに利用させていただきます。 ※万一お申し込み登録完了後も受付確認のご連絡が届かない、招待状を紛失した等ありましたら事務局までお問い合わせください。

※発表内容は変更となる場合があります。予めご了承ください。

同時開催「木づかい」体験イベント

「東京おもちゃ美術館」が
あなたの町にやってくる!



イベント開催時間
13:00~17:00



木育おもちゃ
キャラバンコーナー

開催地域や
地元大学との
コラボレーション

その他
木材利用に関する
企業ブース

参加費
無料
申込不要

主催:まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン実行委員会 後援:林野庁
お問い合わせ:(株)読売エージェンシー内「まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン」事務局 03-5226-9953(平日10~17時)

参加申し込み方法について

お申し込みは、本申し込み書に必要事項をご記入の上、下記FAX番号宛に送信いただくか、専用フォーム「<http://www.yomiuri-ag.co.jp/kizukai2015/>」より、お申し込みください。先着順で受付し、定員300名に達し次第締め切らせていただきますので予めご了承ください。



希望参加会場		第1回 徳島県	
氏名		ふりがな	
性別	☐ 男性 ☐ 女性	年齢	
職業 当てはまるものに丸印をつけてください	①林業・木材産業 ⑥流通業 ⑩主婦 ②建築・不動産業 ⑦金融業 ⑪学生 ③家具・建具産業 ⑧広告・マスコミ ⑫その他〔 〕 ④日用品・雑貨産業 ⑨公務員〔ご担当: 〕 ⑤製造業		
勤務先			
住所			
電話		FAX	
メールアドレス			

- 【注意事項】
- 本イベントは事前申込み制となっており、事前申込みのないお客様は、当日ご入場いただくことができません。観覧ご希望のお客様は、FAXもしくは申込みフォームより事前の申込みをいただけます様、お願いします。
 - 先着300名で申込みを付けます。招待状1通につき、1名様のみご観覧いただけます。複数人でご参加希望の方は、お一人ずつ事前申込みをしていただけますようお願いいたします。
 - 本シンポジウムは、基調講演から、特別トークセッションまで一連のプログラムになっており、一部プログラムのみ参加はご遠慮下さい。
 - 万一、お申し込み登録完了後も招待状が届かないようでしたら、シンポジウム事務局 03-5226-9953(平日10～17時)までご連絡下さい。

シンポジウムお申込み締切 平成27年5月25日(月)

FAX 03-5226-9929

参加費
無料
申込不要

「木づかい」体験イベント 木育おもちゃキャラバン

木のぬくもりや香りを感じながら、想像力をふくらませて遊ぼう！

「東京おもちゃ美術館」からやってくる、たくさんの上質な木のおもちゃで思い切り遊べる「木育おもちゃキャラバン」。

さまざまな木材の色や香り、手触り…楽しみながら木や森林のことを感じられるまたとない機会です。お子様連れで是非ご参加ください。



木づかいとは…

日本では、国産木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林(ヒノキ、スギなど)が全国的にみられます。植える、育てる、収穫する、上手に使うというサイクルがCO₂をたっぷり吸収する元気の森林をつくるのです。「木づかい」とは、暮らしに国産木材の製品をどんどん取り入れて森林を育てるエコ活動です。林野庁は2005年度から「木づかい運動」を推進しています。

事業承継 (M&A・第三者承継などを含む) や

中核となる人材の確保について、お悩みはありませんか？

相談
無料

秘密
厳守

高知県事業承継・人材確保センター

平成27年4月1日 開設しました

中小企業の中には事業の存続について課題や悩みを抱える企業が多く、後継者がいない企業が増加してきています。こういった事業承継問題を先送りにし、何の対策も行わないまま経営を続けると休・廃業せざるを得なくなり、雇用喪失といった社会的損失の発生につながります。

「高知県事業承継・人材確保センター」が「円滑な事業承継」を促進するため、事業承継だけでなく、経営支援から人材確保まで、県内の企業が抱える課題の解決に向け、積極的にサポートをします。

跡継ぎもいないし、
店をたたもうかしら？
いい人がいれば譲りたいわ。



右腕になる人材が
いないなあ。



信頼のおける従業員に
承継を決めた。
今後のポイントは？



事業承継に関する
専門家がご相談に
応じます！

零細企業や個人事業でも
相談にのってくれるかな。



自社を他の企業に
譲渡したいが、
どのように進めていけば
よいのかなあ…。



月曜～金曜日
9:00～19:00
(年末年始・祝祭日を除く)

実務に精通した専門家が秘密厳守でご相談に応じます。

☎ご相談は無料です。お気軽にご連絡ください。

高知県事業承継・人材確保センター

TEL: 088-855-7748(代表) FAX: 088-855-7764

E-mail: syoukei-jinzai@grace.ocn.ne.jp

〒780-0870 高知県高知市本町2丁目2-29 畑山ビル 5階

※この事業は、高知県の委託により、高知商工会議所が運営しています。

平成 27 年 5 月 11 日

各団体 様
各事業所 様

高知県知事 尾崎 正直
(公印省略)

平成 28 年 3 月新規高等学校卒業予定者への
求人の早期提出と採用枠拡大について(お願い)

平素は新規高卒者の採用について、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

去年は、雇用情勢が厳しい中でも、早期の求人の提出や採用枠の拡大に多大なご協力をいただきました。

おかげさまで、平成 26 年 7 月末の時点で、県内事業者様から平成 25 年度の同時期を 40% も上回る 982 人の求人をいただきました。また、平成 26 年度の県内の就職内定率も 93.8% と、平成 8 年度以後で 2 番目に高い数値となりました。各団体や県内企業の皆様方には重ねてお礼を申し上げます。

県では、「産業人材の育成と確保」を重要課題として位置づけ、高校生の雇用対策に引き続き全力で取り組んでまいりますが、雇用機会の確保は、企業、団体の皆様方のご理解とご協力が不可欠です。

つきましては、以下の事項に特段のご配慮を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 これからの本県産業を支え、担うことが期待される新規高等学校卒業予定者の採用枠の拡大
- 2 新規高等学校卒業予定者の採用に係るハローワークへの求人の早期提出
(求人票の受理が開始される 6 月 20 日から 7 月 10 日頃まで)

高知県林業活性化推進協議会



平成 27 年 4 月 24 日高知会館において第 3 回総会が開催されました。

川上から川下までの代表が参集するとともに加盟市町村からも多くの参加があり、高知県の林業活性化について活発な議論が展開されました。



高知県木材普及推進協会



平成 27 年 4 月 28 日高知会館において平成 27 年度通常総会が開催されました。

平成 26 年度事業報告が承認された後、平成 27 年度活動方針では、引き続き「おはようこうち」のテレビ放送等で木造住宅の PR を積極的に推進していくことなどが話し合われました。

また、造林コンクールの優良賞 2 点が表彰されました。

受賞されたのは

有限会社伊藤林業 様

山本林業株式会社 様

です。おめでとうございます。



高知県林業学校



【授業風景】
高知県森づくり推進課提供

平成 27 年 4 月 19 日に県庁正庁ホールにおいて入校式がおこなわれ、高知県林業学校がスタートしました。第 1 期入校性は 18 名、高知県森林技術センター内で 1 年間の人材育成が行われます。

短期課程のご案内

先駆者に学ぶコース

6 月 16 日(火) 13:15～16:00 頃

高知城ホール 2F

「持続的森林経営で儲かる林業へ
～低投資で参入容易な、自伐型林業のススメ～」



講師：中嶋 健造 氏
(NPO 土佐の森・救援隊理事長)

林業改革コース

6 月 25 日(木) 13:00～16:00

高知城ホール 2F

第 1 部 13:15～14:30

「木材の安定供給に向けて
～川上側の視点から～」

講師：後藤 純一 氏
(高知大学農学部教授)



第 2 部 14:45～16:00

「木材の安定供給に向けて
～川中側の視点から～」

講師：長谷川 尚史 氏
(京都大学フィールド科学教育研究センター准教授)



開催日の 2 週間前までに郵送、FAX またはメールで高知県林業学校へお申込みください。

〒782-0078 香美市土佐山田町大平 80 高知県林業学校 tel : 0887-52-9500 fax : 0887-52-9556

メールアドレス : info@shien-center39.com

土佐材流通促進協議会

会員が増えました。全部で 29 社(団体)加盟となりました。

邸別販売・商談会部会

1	梶原町森林組合
2	協同組合ドライウッド土佐会
3	株式会社吾川森林佐川プレカット
4	高知県木材商業協同組合高知プレカット
5	馬路林材加工協同組合
6	四万十町森林組合大正集成工場
7	協同組合高知木材センター
8	池川木材工業有限会社
9	有限会社関西木材建設
10	株式会社エコアス馬路村
11	ばうむ合同会社
12	株式会社クロスロード
13	田中石灰工業株式会社
14	ストローファーム
15	株式会社エスエークラフト
16	株式会社 SUNSHOW



ロット重複
ロット重複
ロット重複



ロット販売・展示会部会

1	協同組合高幡木材センター
2	嶺北林材協同組合
3	協同組合西部木材センター
4	レイホク木材工業協同組合
5	西土佐村森林組合
6	有限会社秋山木工場
7	協同組合高知木材センター
8	池川木材工業有限会社
9	有限会社関西木材建設
10	山和木材株式会社
11	窪内木材株式会社
12	有限会社下田木材店
13	社会福祉法人一条会四万十工房
14	昭和木材株式会社
15	中越製材所
16	有限会社日高製材所

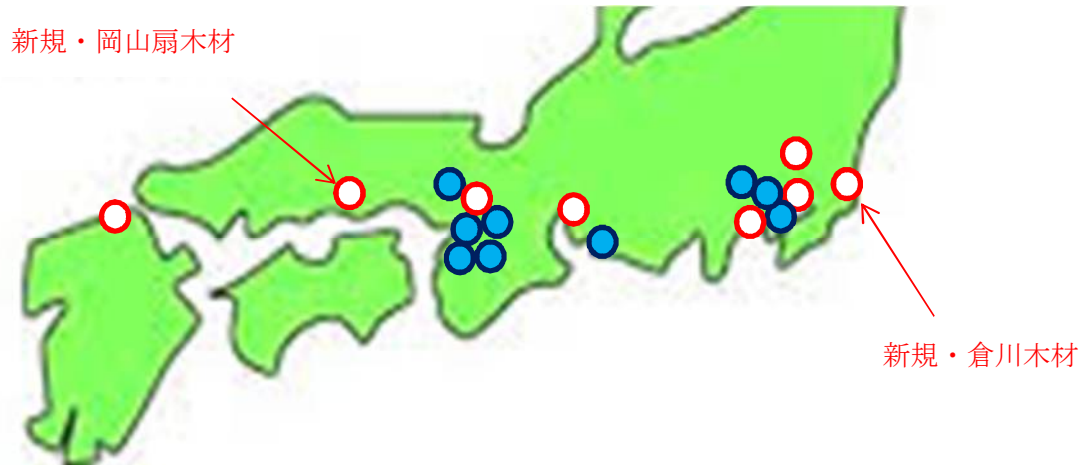


邸別重複
邸別重複
邸別重複



新規加入
新規加入

販売拡大拠点が増えました。全国で 17 ヶ所になりました。



邸別配送拠点●

ロット販売拠点○

1	株式会社ナガオカ	神奈川県川崎市	1	丸宇木材市売株式会社	東京都・茨城県
2	ザイモクヤ	愛知県知多郡	2	株式会社谷口銘木	大阪府摂津市
3	有限会社小谷運輸	大阪府大阪市	3	扇木材株式会社	福岡県粕屋郡
4	株式会社岡本銘木店	大阪府吹田市	4	株式会社山西	愛知県名古屋市
5	株式会社イワイ	大阪府高槻市	5	東京中央木材市場	千葉県浦安市
6	株式会社プレカット中畑	大阪府堺市	6	丸新木材株式会社	神奈川県高座郡
7	株式会社頃安木材	大阪府大阪市	7	岡山扇木材株式会社	岡山県瀬戸内市
8	東昌運輸株式会社	東京都昭島市	8	株式会社倉川木材	茨城県鹿嶋市
9	日本住建株式会社	埼玉県飯能市			



岡山ナイスフェア 27 年 3 月の様子(新規拠点・岡山扇木材)
3 月と 9 月に 二日間で来客 1,000 人のイベントがあります。

大阪森のギャラリー

近畿中国森林管理局内の木材展示を今年も行いました。

毎年展示する関係で高知県には良い位置が確保されているようにも思えます。

4月13日～5月13日までの1か月間展示を行いました。

場所は淀川沿いでの散歩コース、設置作業中にも沢山の人の出入りがあり、高知の木材には注目が集まっていました。



ストローファーム

ばうむ合同会社

大正集成工場

(株)エコアス馬路村

クルミ工房

土佐材パートナー(四国地区)企業意見交換会



県外で土佐材を使っていただけの工務店・設計士と高知県はパートナー協定を結んで「高知県土佐の木の住まい普及推進事業」をおこなっています。

平成27年度から要綱が一部改正され、その制度の説明と各企業との連携のために四国・関西・関東で順次、連絡会議を開催していきます。

4月23日には香川県で四国地区のパートナーを集めて意見交換会を開催しました。

CLT建築推進協議会 講演会



「CLTを通じた新しい建築・木材・社会の在り方」をテーマに4月24日三翠園で講演会が開催されました。

実際にCLTの3階建ての起震実験をおこない、そのダメージを検証する動画などを説明していく興味深い内容の講演会でした。

第 31 回全国削ろう会 神戸大会

坂本龍馬ゆかりの京都の材木商「酢屋」、現在は株式会社千本銘木商会という会社です。

5月5・6日に神戸で開催された全国削ろう会で土佐材の展示を協力してくれました。

魚梁瀬杉の木取り見本や土佐材パンフレットの配布で土佐材の宣伝をおこない、ゴールデンウィーク中にもかかわらず、高知県大阪事務所の林業担当の方が応援してくれました。



日曜市

高知県木材協会として、日曜市に1コマの出展権利を持っています。

高知県木製品工業連合協同組合に加盟している企業に毎週無償でテントを貸し出ししています。

昨年までは「クルミ工房」「井筒屋」「ばうむ合同会社」の3社が交代で出展していましたが、今年度からは「なかよしライブラリー」が新たに加わり4社となりました。

また、5月31日には「土佐龍」がトライアル参加をおこないます。



催事日程

5月24日	なかよしライブラリー
5月31日	土佐龍
6月7日	ばうむ合同会社
6月14日	クルミ工房
6月21日	井筒屋
6月28日	なかよしライブラリー
7月5日	ばうむ合同会社
7月12日	クルミ工房
7月19日	井筒屋
7月28日	なかよしライブラリー
8月30日	新規希望者用 (現在空き)

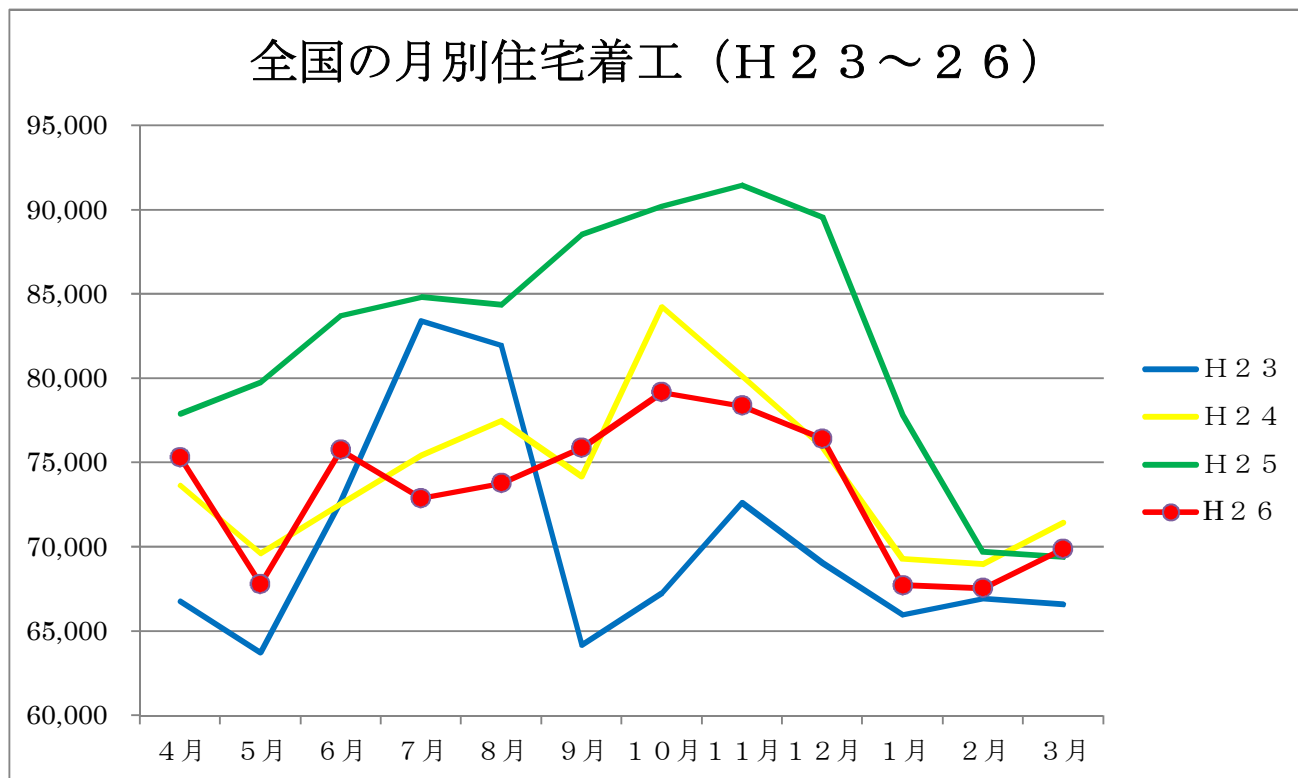
住宅着工情報

平成26年度計 着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表（平成26年4月～平成27年3月）

（単位：戸，％）

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	前年度比	戸数	前年度比	戸数	前年度比	戸数	前年度比	戸数	前年度比	戸数	前年度比	戸数	前年度比
北海道	32,225	-7.8	10,604	-20.3	17,809	1.8	226	-13.4	3,586	-8.1	1,728	-14.2	1,816	-2.8
青森	5,530	-14.3	3,353	-20.3	1,735	-10.6	6	-73.9	436	53.0	35	-	396	45.1
岩手	9,006	-8.8	4,433	-14.4	3,847	-2.0	83	5.1	643	-6.7	284	-1.0	359	-10.7
宮城	24,476	-4.9	7,438	-23.1	12,356	-1.3	411	608.6	4,271	22.1	1,477	98.3	2,739	0.6
秋田	3,951	-9.5	2,515	-21.2	1,108	34.5	11	-66.7	317	0.3	0	0.0	317	0.3
山形	4,641	-21.1	2,636	-30.0	1,491	-7.4	26	-66.2	488	14.3	0	0.0	488	14.8
福島	14,221	-10.9	7,199	-12.9	5,713	-15.4	89	122.5	1,220	36.6	295	63.0	923	29.6
茨城	21,946	-9.9	9,400	-23.0	8,348	-6.5	36	-76.8	4,162	35.1	1,659	93.6	2,503	12.6
栃木	13,479	-6.5	6,264	-22.7	4,692	14.7	102	108.2	2,421	11.1	378	134.8	2,039	1.0
群馬	11,562	-18.6	6,305	-21.9	3,342	-10.2	44	175.0	1,871	-21.9	70	-82.9	1,801	-9.2
埼玉	55,449	-11.1	15,862	-21.0	20,796	-5.1	250	64.5	18,541	-8.3	5,167	-6.3	13,215	-9.8
千葉	44,998	-10.0	12,316	-21.1	16,619	-5.8	77	-71.7	15,986	-2.9	5,663	-5.9	10,258	-0.9
東京	140,430	-5.1	17,348	-18.8	59,921	-3.6	1,991	32.3	61,170	-2.8	40,487	-1.8	20,190	-5.0
神奈川	68,314	-11.7	14,323	-22.3	28,224	3.3	774	448.9	24,993	-20.6	9,789	-31.4	14,657	-12.7
新潟	11,562	-14.8	6,368	-24.3	4,125	-6.9	85	347.4	984	38.6	380	173.4	602	9.1
富山	5,527	-9.8	3,230	-17.4	1,829	8.1	52	-3.7	416	-12.4	128	-41.6	288	12.5
石川	6,766	-8.8	3,426	-20.8	2,372	9.6	17	-10.5	951	4.5	283	-10.7	668	12.6
福井	3,548	-18.1	2,233	-25.4	966	5.3	20	185.7	329	-21.1	29	-68.8	300	-6.8
山梨	4,601	-10.5	2,710	-24.0	1,392	20.9	164	192.9	335	-8.5	44	-63.6	291	18.8
長野	10,807	-11.9	6,559	-21.7	2,987	14.8	299	339.7	962	-20.4	97	-67.3	865	-5.2
岐阜	10,331	-14.8	5,911	-23.3	2,464	-8.6	20	-52.4	1,936	15.4	280	39.3	1,656	12.2
静岡	23,843	-16.5	12,064	-23.5	7,682	-15.4	203	-3.3	3,894	11.1	1,198	19.7	2,695	7.6
愛知	55,204	-13.7	19,168	-22.1	20,366	-5.9	545	168.5	15,125	-13.6	5,429	-12.6	9,692	-14.0
三重	9,734	-10.4	5,369	-19.8	2,902	2.8	25	-13.8	1,438	9.3	275	-	1,163	-11.6
滋賀	8,205	-23.0	4,151	-24.9	2,565	-5.4	88	175.0	1,401	-41.5	266	-68.8	1,130	-26.4
京都	16,826	-14.1	4,382	-19.6	7,037	-2.6	76	-63.6	5,331	-20.4	2,395	-27.4	2,924	-13.7
大阪	63,730	-7.4	9,664	-22.6	28,747	2.8	319	114.1	25,000	-11.3	14,316	-8.0	10,609	-15.8
兵庫	33,520	-8.0	9,811	-19.2	11,886	4.5	635	195.3	11,188	-11.8	5,531	-12.2	5,631	-11.4
奈良	5,992	-19.9	2,560	-20.2	1,863	-3.4	1	-96.4	1,568	-32.3	188	-70.3	1,378	-18.2
和歌山	4,845	-14.5	2,577	-24.5	1,465	1.0	149	893.3	654	-16.8	138	-49.1	510	-1.0
鳥取	2,568	6.2	1,212	-25.7	1,153	69.6	8	14.3	195	93.1	112	194.7	83	31.7
島根	3,147	-9.3	1,499	-22.3	1,374	13.6	10	-85.1	264	-0.8	137	-12.7	127	16.5
岡山	10,372	-23.0	5,095	-24.3	4,197	-15.7	27	-37.2	1,053	-38.8	223	-78.2	822	18.4
広島	15,864	-16.6	5,340	-18.7	6,025	-14.7	123	98.4	4,376	-17.7	1,854	-35.4	2,518	2.8
山口	7,648	-10.0	3,253	-18.3	3,493	7.7	61	-46.5	841	-27.1	426	-39.1	415	-8.6
徳島	3,878	-15.0	2,042	-22.2	1,496	-9.9	24	-67.1	316	56.4	157	118.1	153	21.4
香川	6,053	-12.3	2,964	-21.1	2,437	2.4	24	-14.3	628	-14.3	297	-26.5	317	-3.6
愛媛	6,540	-22.7	3,415	-25.1	2,362	-11.5	23	-70.9	740	-35.9	267	-56.7	469	-12.8
高知	2,755	-24.7	1,501	-21.6	757	-27.4	13	-84.3	484	-21.6	206	-35.4	276	-7.4
福岡	36,722	-11.9	9,475	-16.2	19,122	-3.4	124	-41.5	8,001	-23.0	4,502	-29.8	3,465	-9.4
佐賀	4,699	-13.8	2,062	-23.8	2,008	0.0	19	58.3	610	-16.2	344	-9.7	266	-23.3
長崎	6,481	-2.7	2,845	-9.4	2,774	-1.1	69	68.3	793	17.7	517	26.4	276	4.2
熊本	11,013	-10.8	4,455	-15.6	4,737	-12.7	230	1,110.5	1,591	-2.4	651	2.4	940	-5.1
大分	6,423	-11.9	2,761	-17.2	2,688	-14.0	66	32.0	908	16.6	428	31.3	480	6.4
宮崎	6,085	-23.6	3,012	-18.7	2,303	-23.6	25	0.0	745	-38.9	219	-68.1	526	-0.9
鹿児島	9,931	-12.0	4,260	-22.5	4,384	-1.4	64	-37.9	1,223	-0.9	455	-20.5	744	12.4
沖縄	15,022	-12.5	2,851	-30.5	10,381	-11.4	133	250.0	1,657	26.4	1,411	38.2	241	-7.7
合 計	880,470	-10.8	278,221	-21.1	358,340	-3.1	7,867	49.2	236,042	-8.9	110,215	-11.0	124,221	-7.2
北海道	32,225	-7.8	10,604	-20.3	17,809	1.8	226	-13.4	3,586	-8.1	1,728	-14.2	1,816	-2.8
東北	61,825	-9.4	27,574	-19.6	26,250	-4.8	626	101.9	7,375	20.7	2,091	72.4	5,222	7.7
関東	371,586	-8.9	91,087	-21.3	146,321	-2.2	3,737	54.8	130,441	-7.0	63,354	-8.0	65,819	-6.5
北陸	27,403	-12.9	15,257	-22.3	9,292	0.9	174	75.8	2,680	6.7	820	6.8	1,858	7.8
中部	99,112	-14.2	42,512	-22.4	33,414	-7.8	793	63.8	22,393	-6.7	7,182	-3.2	15,206	-8.2
近畿	133,118	-10.4	33,145	-21.5	53,563	1.7	1,268	95.7	45,142	-14.9	22,834	-15.1	22,182	-14.9
中国	39,599	-15.5	16,399	-21.3	16,242	-5.4	229	-21.8	6,729	-21.4	2,752	-42.5	3,965	5.2
四国	19,226	-18.5	9,922	-22.8	7,052	-9.0	84	-68.1	2,168	-19.9	927	-34.3	1,215	-5.9
九州	81,354	-12.2	28,870	-17.5	38,016	-6.4	597	29.2	13,871	-16.7	7,116	-24.5	6,697	-5.3
沖縄	15,022	-12.5	2,851	-30.5	10,381	-11.4	133	250.0	1,657	26.4	1,411	38.2	241	-7.7
首都圏	309,191	-8.4	59,849	-20.7	125,560	-2.7	3,092	49.4	120,690	-7.9	61,106	-8.8	58,320	-7.5
中部圏	99,112	-14.2	42,512	-22.4	33,414	-7.8	793	63.8	22,393	-6.7	7,182	-3.2	15,206	-8.2
近畿圏	133,118	-10.4	33,145	-21.5	53,563	1.7	1,268	95.7	45,142	-14.9	22,834	-15.1	22,182	-14.9
その他地域	339,049	-12.0	142,715	-20.9	145,803	-4.1	2,714	31.1	47,817	-6.2	19,093	-15.1	28,513	1.0

(1) 全国の月別新設住宅着工(23 年～27 年 3 月まで)



平成 26 年度の全国の新設住宅着工数は消費税増税前の駆け込み需要の影響が大きかった前年度比で 10.8%減（880,470 戸）で 5 年ぶりの減少となった。

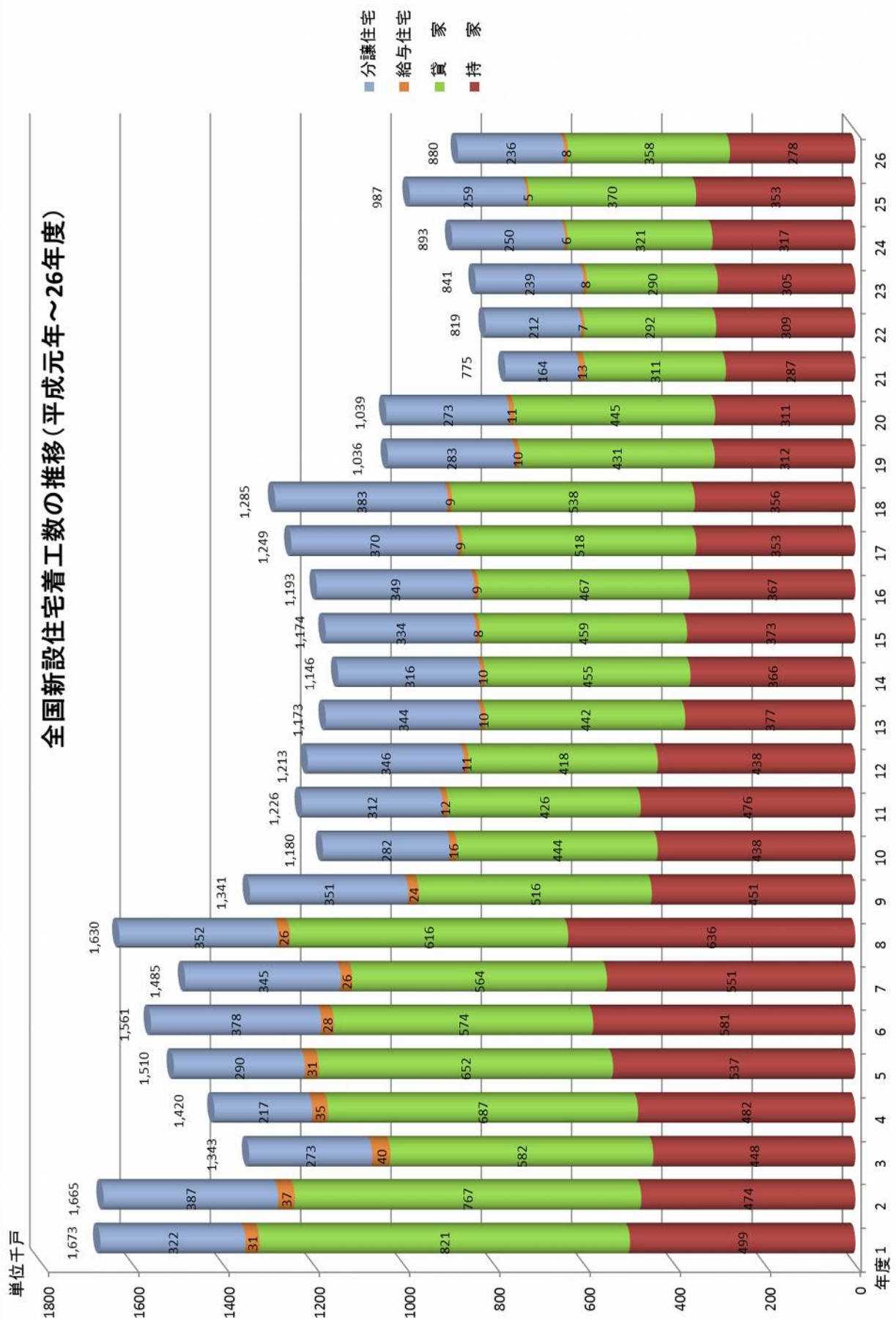
利用関係別でみると、持家は前年比 21.1%減（278,221 戸）で 3 年ぶりだが大幅な減少となった。貸家は 2015 年 1 月の相続税の課税強化があったので、前年度比 3.1%減（358,340 戸）で小幅だが 3 年ぶりの減少となった。分譲住宅のマンションは前年度比 11.0%減（110,215 戸）と 2 年ぶりの減少、一戸建住宅は前年度比 7.2%減（124,221 戸）で 5 年ぶりの減少となり、合計 236,042 戸で前年度比 8.9%の減となった。

工法別では、在来木造住宅は前年度比 16.9%減（304,422 戸）、プレハブは前年度比 6.4%減（140,157 戸）、ツーバイフォーは前年度比 7.4%減（111,549 戸）で、それぞれ 5 年ぶりの減少となった。

平成 27 年度の新設住宅着工は、各金融機関やシンクタンクの予測では景気回復基調に加え、駆け込み需要の反動減が薄れ、省エネ住宅ポイントの支援策などが後押しとなって、26 年度と同程度での推移が予測されている。また、28 年度の予測は 29 年 4 月の消費税の 10%への増税を条件に前年度横ばい～若干増加が予測される。

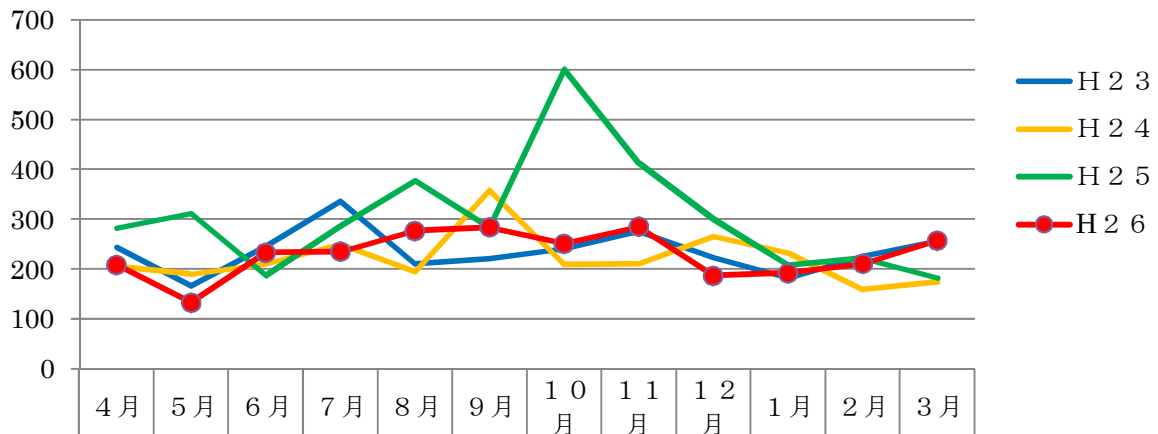


全国新設住宅着工数の推移(平成元年～26年度)



資料(2) 高知県の月別新設住宅着工数(平成 23～27 年 3 月まで)

高知の住宅着工 (H 2 3 ～ 2 6)



H 2 3	244	167	247	337	211	221	241	276	223	182	226	257	2,832
H 2 4	206	190	211	250	195	358	209	211	266	232	159	175	2,662
H 2 5	283	312	188	286	378	284	601	413	301	208	222	182	3,658
H 2 6	209	133	233	235	277	284	251	285	187	192	211	258	2,755

高知県の平成 26 年度の新設住宅着工数は、平成 25 年の消費税増税による駆け込みの反動減もあり 2,755 戸で前年度比 24.7%減と大きく減少した。

内訳は持ち家が 1,501 戸（前年度比 21.6%減）、貸家は 757 戸（前年度比 27.4%減）、分譲住宅は 484 戸（前年度比 21.6%減）となって、合計ではほぼ 24 年度の水準となっている。

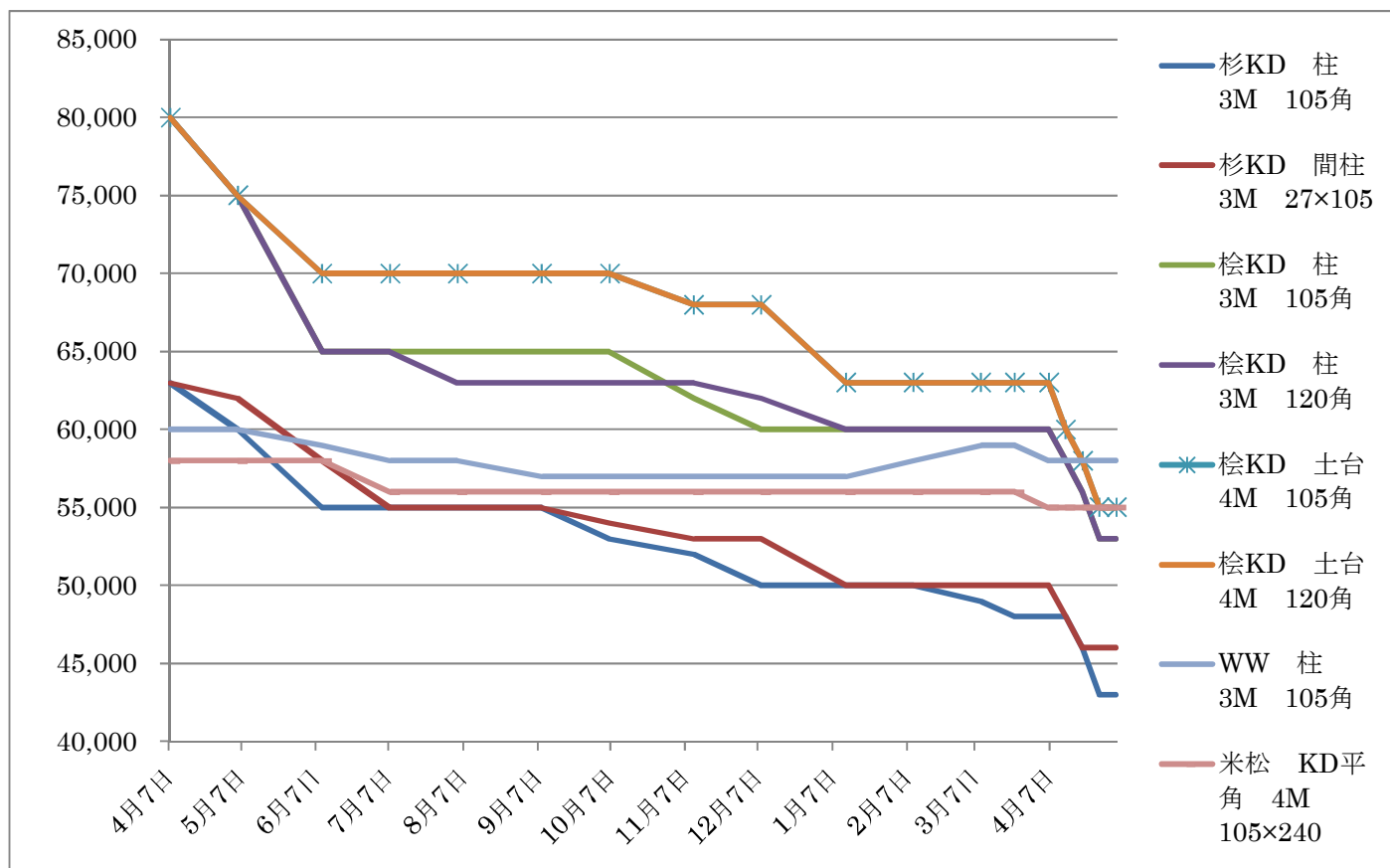
平成 2 6 年度新設住宅：総括表

高 知 県
(単位：戸)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	年計	1 月	2 月	3 月	年度計
新設住宅計	208	222	182	209	133	233	235	277	284	251	285	187	2706	192	211	258	2755
建 築 別																	
利 用 関係別																	
持 家	196	171	157	209	130	224	235	253	276	188	283	184	2506	170	206	252	2610
貸 家	150	116	113	135	104	136	131	132	121	124	134	125	1521	111	131	117	1501
分譲住宅	48	78	42	37	16	72	84	89	35	97	122	38	758	65	53	49	757
資金別																	
民間資金	153	132	120	151	94	173	175	211	229	151	233	160	1982	108	162	228	2075
公的資金	55	90	62	58	39	60	60	66	55	100	52	27	724	84	49	30	680
公営住宅	12	50	23	0	3	9	0	24	8	63	2	2	196	21	5	6	143
住宅金融機構	11	10	12	13	14	20	12	18	12	16	25	11	174	15	13	13	182
都市再生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	32	30	27	45	22	31	48	24	35	21	25	14	354	48	31	11	355
構造別																	
木 造	164	125	135	163	107	167	136	136	150	154	212	140	1789	121	158	137	1781
非木造	44	97	47	46	26	66	99	141	134	97	73	45	915	71	53	121	972
R C	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9
S	0	56	23	0	3	9	26	105	97	73	0	36	428	21	10	91	471
C B	44	41	24	46	23	57	73	36	37	24	73	9	487	50	43	30	501
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工法別																	
在来工法	148	172	142	152	102	181	155	233	235	205	171	170	2066	137	148	219	2108
プレハブ	46	41	25	47	23	27	64	32	41	23	48	10	427	45	46	30	436
枠組工法	14	9	15	10	8	25	16	12	8	23	66	7	213	10	17	9	211
建て方別																	
一戸建	162	137	139	178	122	159	154	149	152	156	166	149	1823	128	165	138	1816
長屋建	42	14	16	4	8	32	34	10	6	22	94	2	284	15	26	26	279
共 同	4	71	27	27	3	42	47	118	126	73	25	36	599	49	20	94	660
前年新設住宅計	232	159	175	283	312	188	286	378	284	601	413	301	3612	208	222	182	3658
前年比	89.7%	139.6%	104.0%	73.9%	42.6%	123.9%	82.2%	73.3%	100.0%	41.8%	69.0%	62.1%	74.9%	92.3%	95.0%	141.8%	75.3%
持 家	113.6%	112.6%	85.6%	87.1%	75.9%	107.9%	82.9%	78.1%	64.0%	59.0%	67.3%	64.8%	79.9%	74.0%	112.9%	103.5%	78.4%
貸 家	63.2%	300.0%	131.3%	72.5%	20.3%	327.3%	175.0%	79.5%	52.2%	37.6%	76.3%	48.7%	75.1%	135.4%	67.9%	116.7%	72.6%
分譲住宅	66.7%	-	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	18.2%	12.0%	32.9%	50.0%	0.0%	-	15.7%	-	-
前年値	38.1%	74.1%	218.2%	64.9%	12.6%	55.0%	29.0%	56.7%	492.3%	23.0%	89.7%	73.3%	64.4%	187.5%	135.0%	383.3%	78.4%
持 家	132	103	132	155	137	126	158	169	189	210	199	193	1903	150	116	113	1915
貸 家	76	26	32	51	79	22	48	112	67	258	160	78	1009	48	78	42	1043
分譲住宅	3	3	0	20	1	0	11	0	2	11	25	0	76	2	8	3	83
公庫前年値	22	25	26	17	21	21	21	23	27	13	16	14	246	11	10	12	206
〃 前年比	50.0%	40.0%	46.2%	76.5%	66.7%	95.2%	57.1%	78.3%	44.4%	123.1%	156.3%	78.6%	70.7%	136.4%	130.0%	108.3%	88.3%

木材価格情報

資料(3) 製品市況 関東市売り場(26年4月～27年5月4日まで)



26年度の国産材製品市況は昨年の消費税増税前の駆け込みの反動減や供給不足による他製品への代替えなどで需要が大きく減少した中、大型工場の設備投資が進み構造材を中心に供給過剰があり、1年を通して製品価格は下降した。

27年に入ってから全国的に一段と製品需要が悪化し、一部メーカーの投げ売りも見られ、製品単価は構造材を中心に一年間で価格が30%以上下落して、最安値も見られるようになった。特に桧の角材の荷動きが深刻になってきている。

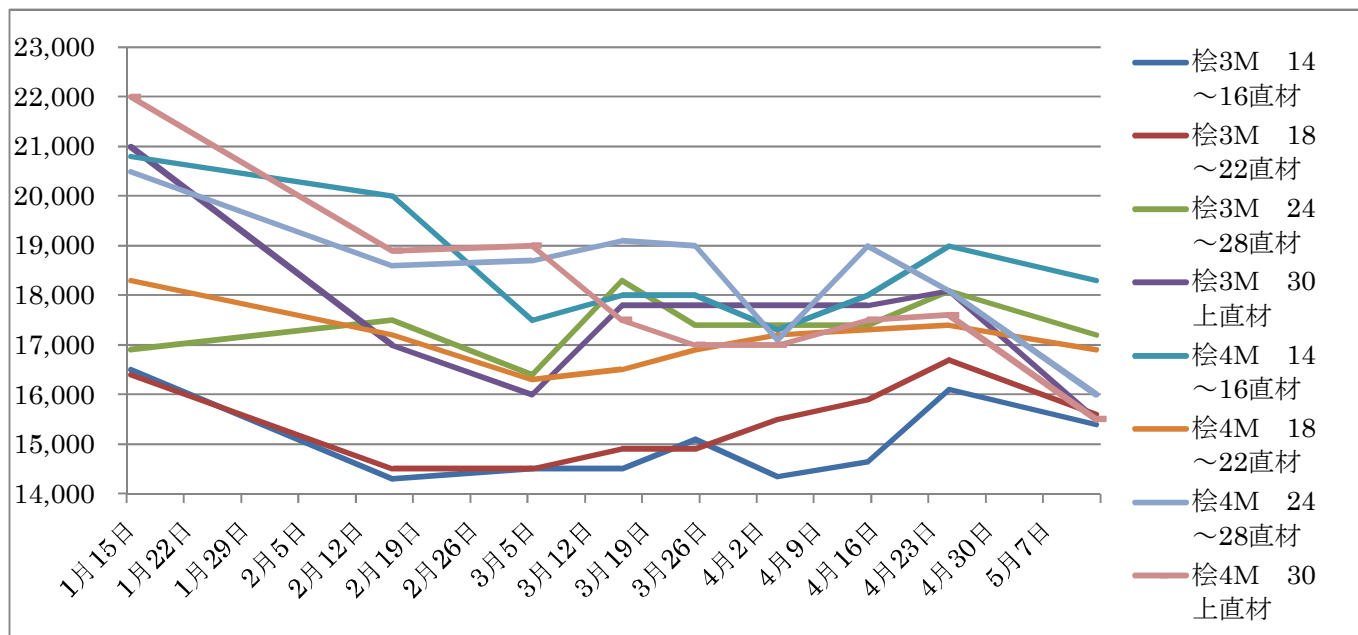
5月以降も大手ビルダーが受注を幾分改善してきているようだが、全体的な資材需要の押し上げには時間がかかりそうだ。



左の写真は

3月20・21日にひろめ市場でおこなわれた
「木造住宅フェア」

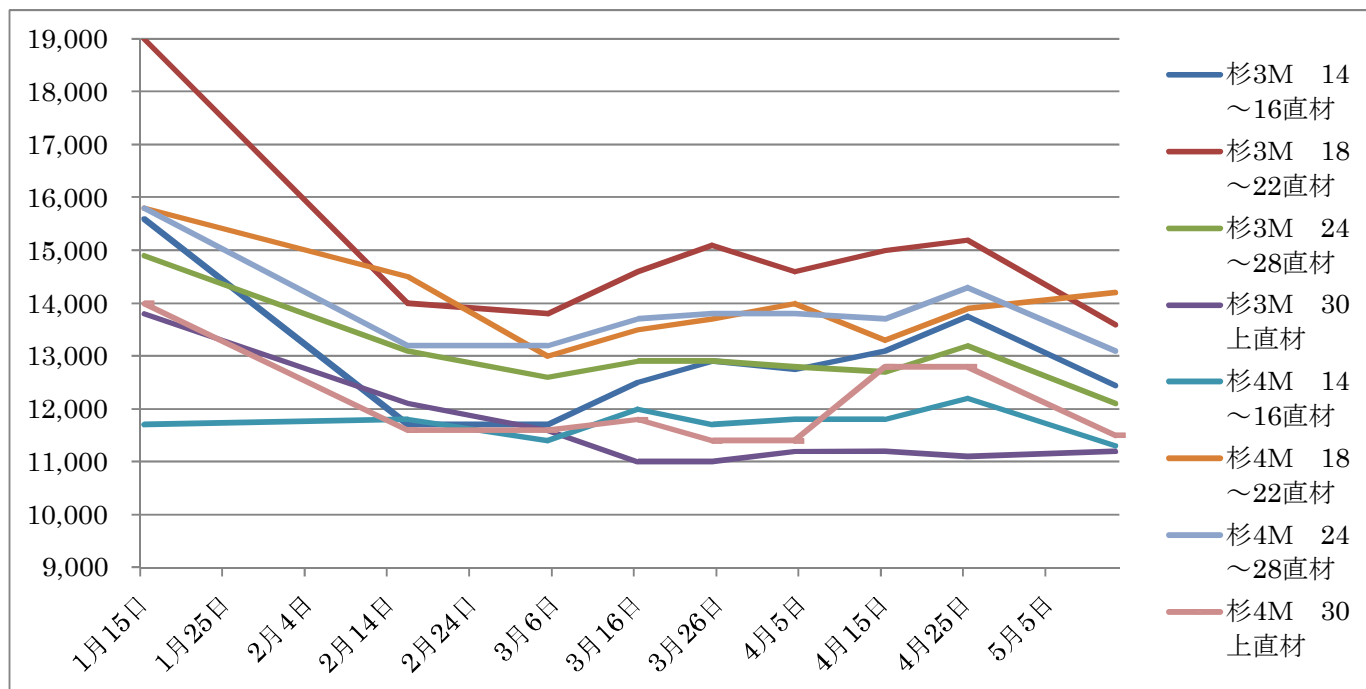
資料(4) 平成 27 年丸太市況 桧 3～4M (久万広域森林組合分) 5 月 13 日まで



平成 27 年度に入ってから桧丸太価格は、製品の荷動きが悪く、製品価格が下落している影響を受けて下げてきている。

5 月以降の見通しは、製品需要が低迷しているなか、横ばい～下降で推移していく見込みである。一方出材量は端境期でもあるため多少減少しているが、梱包材・チップ材・バイオマス等の下級材が下支えしているため、極端な減少にはならない見込みである。

資料(5) 平成 27 年丸太市況 杉 3～4M(久万広域森林組合分) 5 月 13 日まで



平成 27 年度に入ってから杉丸太価格は、桧と同様に製品の荷動きが悪く、製品価格が下落している影響を受けて、価格を下げてきている。5 月以降の見通しも桧と同様で、梱包材・チップ材・バイオマス等の下級材が下支えしているため、極端な減少にはならない見込みである。

5月の商況

27年度にはいつ頃から、四月以降は住宅向けの需要が乏しく、製品の荷動きは一段と低いレベルで推移し、特に桧製品の荷余り感が強くなっている。そのため製品価格の下降が続いていて、最安値の価格も聞かれるようになった。メイン需要者のプレカット工場の受注も最悪期は脱したが、その伸びは鈍い。市売り問屋も新築需要が不振のためにスギ・ヒノキの構造材の荷動きは低調で、造作材はリフォーム増改築で小動きが続くが、全般に荷動きは低迷している。今後は住宅着工が少しでも回復してくれば、競合する外材製品に品薄感も出ているため、代替需要の動きも期待できる。

(1) 丸太相場

製材丸太は4月に入ってから、長引く製品需要の低迷から少しでも丸太コストを下げたい思いは製材工場に共通だが、台頭しつつある燃料チップ需要が製材工場を脅かし、先々の丸太入手環境を考えると安値はつけられない状況にある。特にチップ需要が活発な西日本は製材用丸太も相対的に居所高にある。一方で、チップ需要が西日本ほど活発でない東日本は買いへの安心感からか相場は値下がりし、北関東・南東北では大幅な下落局面にある。合板用B材相場は横ばいだが、バイオマス発電用向けと輸出用は活発で、バイオは6,500～8,000円、輸出用は8,000円前後の相場で下支えして、B材とC・D材の価格が近づいている。



久万広域森林組合 5月13日相場表

		杉		桧	
長さ	末口計	直	曲	直	曲
3.00	8～11	285	285	310	310
	12	8,200		11,600	
	13		8,200		11,600
	14	11,000	9,500	13,300	11,800
	16	13,900	13,300	17,500	15,100
	18～22	13,600	11,600	15,600	14,200
	24 上	12,100	10,300	17,200	15,500
	30 上	11,200	9,800	15,500	15,000
4.00	8～11	405	405	420	420
	12	11,200		12,800	
	13		9,600		12,000
	14～16	11,300	9,600	18,300	16,700
	18～22	14,200	12,300	16,900	15,700
	24 上	13,150	11,450	16,000	16,000
	30 上	11,500	11,300	15,500	15,500

(注) 3桁は本売り 単位m³

(1) 製品相場

国産材製品はいまだ市況回復の機会をつかめずにいる。4 月後半には連休前に一定の在庫を確保する動きも見られたが、連休明けの荷動きは精彩を欠いた。プレカット会社の受注も最悪期は脱したが、その伸びは鈍い。競合する外材製品に品薄感も出ているが、需要の少なさから代替需要といった動きも見られない。相場も全国的に低位安定で、構造材を中心に北関東や九州の大手メーカーの安値売り込みが強い。羽柄材・造作材も小動きがあるものの弱保合で推移している。今後は大幅な住宅着工の見込めないなかで、店舗内装や商業施設などの非住宅分野での需要拡大を目指すところになっている。

首都圏市場の木材標準相場表 単位m ³					
品目	樹種	寸法	等級	4 月	5 月
柱角	杉(KD)	3M 105mm 角	特等	48,000	43,000
間柱	杉(KD)	3M 30×105mm	特等	48,000	46,000
柱角	桧(KD)	3M 105mm 角	特等	58,000	53,000
柱角	桧(KD)	3M 120mm 角	特等	58,000	53,000
土台角	桧(KD)	4M 105mm 角	特等	60,000	55,000
土台角	桧(KD)	4M 120mm 角	特等	60,000	55,000

(2) 米材

米国産・カナダ産の米材丸太の荷動きは低調なままで推移し、中国と日本の輸入量の大幅減で現地価格が 2 月から続落しており、5 月積も値下げで決着した。さらに国内挽き製品も荷動き不振が続いているため、国内挽き製材メーカーは徹底した当用買い、様子見の状態になっている。競合製品である欧州産Rウッド集成平角のユーロ安に起因する相場安で、製品価格は小幅下げ後、横ばい推移している。KD平角・グリーン材とも弱保合で推移している。小割物はWウッドの流通量が少なく、米松・米ツガ製品とも保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き)				単位m ³	
	樹種	寸法	等級	4 月	5 月
平角	米松 KD	4M 105×270mm	特等	56,000	55,000
平角	米松グリーン	4M 105×270mm	特等	44,000	44,000
角材	米松 KD	4M 105mm 角	特等	58,000	58,000
タルキ	米松 KD	4M 45×45mm	特等	60,000	60,000
タルキ	米松グリーン	4M 45×105mm	特等	45,000	45,000
注入土台角	米ヒバ	4M 105mm角	特等	55,000	55,000
首都圏市場の木材標準相場表(輸入品)				単位m ³	
角材	米松 KD	4M 105mm 角	特等	55,000	55,000
平角	米松グリーン	4M 105×240mm	特等	44,000	44,000
タルキ	米松 KD	4M 45×105mm	特等	56,000	56,000
タルキ	米松 KD	4M 45×90mm	特等	56,000	56,000
タルキ	米松 KD	4M 45×60mm	特等	56,000	56,000
角材	米ツガ	4M 105mm 角	特等	53,000	53,000
角材	米ヒバ	4M 105mm 角	特等	52,000	58,000

(3) 欧州材・ロシア材

欧州材の需給は整っているが、販売に弱さがある。構造用集成材の輸入品は現物玉の余剰在庫がなく新規成約が進み、輸出価格は集成平角を中心に 10 ユーロ (m³) 前後値上がりしたが、円に対しユーロ安が進み、需要の低調なことからジリ安が続いている。Wウッド集成管柱は過剰感が強く、価格弱含みで推移している。Rウッド集成平角も国産を中心にジリ安が続いている。WウッドKD間柱 4m材を中心に品薄感が強いが、杉KD間柱の過剰感が強く、相場は横ばいで推移している。Wウッドの小割物は需給が締まっているが横ばいで推移している。ロシア材小割物も横ばいで推移している。

首都圏市場の木材標準相場表				単位m³	
	樹種	寸法	等級	4 月	5 月
集成平角(国産)	R ウッド	4M 105×240mm	特等	58,000	58,000
集成管柱(国産)	W ウッド	3M 105mm 角	特等	1,850	1,850
間柱(欧州産)	W ウッド(KD)	3M 27×105mm	特等	48,000	48,000
集成平角(欧州産)	R ウッド	4M 105×240mm	特等	58,000	58,000
集成管柱(欧州産)	W ウッド	3M 105mm 角	特等	58,000	58,000
ラミナ	W ウッド	乱尺		35,000	35,000
ラミナ	R ウッド	乱尺		36,000	36,000
ロシアタルキ	アカ松 KD	3.8M 35×35mm	特等	65,000	65,000
ロシア胴縁	アカ松 KD	3.8M 16×40mm	特等	70,000	70,000



(4) NZ・チリ材

梱包・パレット用材はいずれも 3 月から引き合いが鈍化していたが、4 月に入ってからさらに低迷しており、実需不足が鮮明になっている。パレットは散発的な荷動きが続き、梱包も需要のばらつきが続きまとうが、全体的には苦戦の声が目立つ。NZ産丸太は昨年来円安分の値上げを要請していたが、結果として安価な杉製品の販売増を後押しすることとなった。ここに来て中国のNZラジアタ松は弱基調にあり、日本向けも 5 月末積は弱気配で、産地価格の値下げの要請を強めている。

梱包関連標準相場表				単位m³	
	樹種	寸法	等級	4 月	5 月
割板	ラジアタ松	4M 15×240mm	特等	45,000	45,000
割角	ラジアタ松	4M 27×85mm	特等	43,000	43,000

(5) 針葉樹合板

国産針葉樹合板は弱保合。4月は3月末の各商社の年度末の決算による先食いも加味されて荷動きが振るわなく、生産量も3月が月間22万㎡と減産が進まず、在庫量は25万へ増加したため、相場は下押ししている。メインユーザーのプレカットの稼働状況の受注状況が思わしくなく、5月も弱保合での推移の見込。輸国産南洋材合板の荷動きは木建ルートの低迷が長引き不振が続いているが、丸太相場はインド向けが堅調で強基調でメーカーの体力を奪っている。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表			単位 枚	
	樹種	寸法	4月	5月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm 910×1820mm	760	750
針葉樹構造用合板	JAS	15mm 910×1820mm	1,150	1,150
針葉樹構造用合板	JAS	24mm 910×1820mm	1,650	1,600
針葉樹構造用合板	JAS	28mm 910×1820mm	1,950	1,900

(6) プレカット

4月のプレカット各社の稼働状況は、3月に比べて若干増えているものの受注が回復しているといった雰囲気ではない。4月の全国受注平均も93.9%で3月と比べて10.0ポイント増加しているが、地場工務店はいまだ低調で、大手ビルダーからの仕事も大きく増加しているといった様相ではない。

消費増税から1年が経過したが、プレカット会社の受注状況は改善の兆しを見い出せないでいる。4～6月期は受注・稼働ともに5月の連休明けから本格化するため、4月の出足の悪さは先行きに不安を残すものとなっている。物件数が少ないため、相見積の頻度が高く、加工賃込みの販売単価の下げ圧力になっているが、製品の仕入は各社慎重な姿勢を崩していない。非住宅物件では公共・民間ともに見積りが出始めて期待感があるが、各社とも非住宅分野に力を入れており、受注の獲得競争は激化している。

4月のプレカット稼働調査(全国平均表)

単位: % ()内は前年比

	3月(実績)	4月(受注)	5月(見込)
北海道	64.4(90.8)	98.5(109.0)	110.0(103.0)
東北	64.0(73.0)	81.0(85.0)	100.0(91.0)
関東	89.0(94.0)	97.0(107.6)	98.8(117.0)
中部	75.8(84.5)	85.8(93.4)	91.2(104.7)
関西	83.3(90.0)	91.7(96.7)	93.3(101.7)
中国	73.0(75.5)	72.5(95.0)	75.0(85.0)
四国	100.0(90.0)	103.5(116.0)	96.0(100.0)
九州	104.4(113.5)	109.6(100.9)	124.2(115.2)
全国平均	81.7(88.9)	92.4(100.4)	98.6(102.2)



『トピックス』 全国の27年度の新設工場の予定

・土佐グリーンパワー（高知県）

平成27年4月稼働開始

100%未利用材使用のバイオマス発電所、出力は年間送電量約4000万Kwhで約1万世帯分の電力供給能力。年間発電燃料は材積換算で年間10万m³

・丸和林業

平成27年4月、大分県臼杵市にチップ製造工場開設 チップ年間2万4千トン計画

平成27年4月、島根県八頭町にチップ工場・貯木場開設 チップ年間3万トン計画

平成27年5月、高知県大豊町にチップ工場開設

・さつまファインウッド

鹿児島県霧島市に平成27年3月稼働開始。伊万里木材市場が設立し、国産2×4材に特化して製造し、大建託向けを中心に販売する。当初年産4万7千m³、最終的に8万m³を製造予定にしている。

・中国木材日向工場

宮崎県日向市に平成26年8月に稼働開始。26年9月に小径木ラインから試運転にはいり、現在の丸太消費量は月間2,000m³で梱包・土木用材とバイオマス燃料向けを製造。中径木ラインは現在月間15,000m³で、集成材用ラミナ40%、柱・梁25%、小割類25%その他10%となっている。7月稼働予定の大径木ラインでは年間消費丸太6万m³を見込んでいる。現在の予定は年間22万m³で将来的には2シフト体制で年間45万m³が目標。また、小断面集成材工場は杉の集成管柱専門工場として27年3月に稼働し、バイオマス発電施設も27年4月から売電事業を開始し、年間20万トンの木質燃料を使用する。

・長良川木材事業協同組合

岐阜県郡山市に27年4月より試運転開始、7月より本格稼働。中国木材を中心に関連企業3社と森連他7社で構成。杉材を中心にヒノキも製材し、柱角や梁・桁などの構造材を中心に小割や板類も製造する。年間5万m³を消費し、将来的には10万m³を目指す。

・ファーストプライウッド

パワービルダー最大手の飯田ホールディングスなど3社が出資して青森県六戸町に大型LVL工場を建設、27年4月より試験操業を開始した。主に杉材のLVL（単板積層材）を製造予定で年間12万m³の丸太消費量を見込んでいる。

・池川木材工業有限公司

高知県仁淀川町に製材工場を27年度中に新設。ラミナ材を中心に3年目で3万m³、5年後には5万m³の丸太投入を目標にしている。

・エネ・ビジョン（名古屋市本社）

豊田通商を中心に設立した「えひめ森林発電」が事業体となり、松山市に大規模木質バイオマス発電所を建設し、2018年1月の稼働を目指す。年間発電量は約8700万kwhを見込み、燃料は県内の未利用材を年間6万トン、パームヤシ殻を6万トン使用する見込。



みどりとふれあうフェスティバル

平成 27 年 5 月 9・10 日に東京日比谷公園で開催されました。

農林水産省・林野庁・東京都ほか主催の木材イベントに高知県ブースで参加しました。



県の産地・流通支援課（農業）と一っしょに木製品も展示しました。

第1回 木のこども祭

平成 27 年 5 月 10 日に高知市丸の内緑地（高知城南側）で開催されました。



木のおもちゃコーナー



ここでも、森の博士登場

これからも木育イベントに積極的に参加していきます。

行事予定

- 5月29日（金） 高知県木材産業協同組合連合会総会
（一社）高知県木材協会総会
高知県木材産業政治連盟総会
（ご注意：今年は会場がオリエントホテルになっています。）
- 6月11日（木） 関西地域土佐材パートナー会議・大阪商談会
（大阪産業創造館）
- 6月24日（水） 東京中央木材市場 第2回土佐材展示会
- 7月10日（金） 扇木材（福岡）第5回土佐材まつり
- 7月（日未定） 四国木材協会長会議
- 7月28日（火） 関東地域土佐材パートナー会議・東京商談会
（赤羽会館）

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して



一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801 高知市小倉町2番8号

TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>